

キリスト教文化研究センターの歩み

平成26年度(2014－2015)

・所員会

平成26年度は、4月24日、5月29日、6月26日、7月31日、9月18日、10月30日、11月27日、12月18日、1月29日、2月26日、3月18日の計11回開催。主に公開セミナーや大学創立20周年にむけてのセンター企画行事について話し合いが行われた。

定例所員会としては、毎月最後の木曜日14:40～16:00ということで継続しているが、大学側の事情で正規の授業以外に様々な企画や会議などの業務が増え、教員の仕事も多様化する中で、所員会への集合も難しくなっている。平成26年度の所員数は正所員10名、オブザーバー1名である。

・カトリック大学キリスト教文化研究所協議会

2014年6月13日～14日 場所：ベストウエスタンプレミアホテル長崎及び長崎純心大学
出席 岡村

・創立20周年記念コンサート 11月11日(火) 13:00～14:00

場所：江角記念ホール

出演：ソプラノ 瀬戸口美希代

バリトン 瀬戸口 浩

ピアノ 寺蘭 玲子

演奏曲目：アヴェ・マリア(グノー・カッチーニ・マスカーニ)

オンブラ・マイ・フ(ヘンデル)

むりしてスーパーマン(大中恩)

歌劇「椿姫」より 乾杯の歌“飲み交わそう、祝杯を!”(ヴェルディ)他

・公開セミナー 平成27年2月20日(金) 14:00～16:30

テーマ：「キリスト教と教育」

基調講演：「大学におけるキリスト教教育」

講演者：小塩 節 氏 (ドイツ文学者、中央大学名誉教授、前フェリス女学院院長・理事長)

対象：鹿児島純心女子大学全教職員(FD・SD)、学生(希望者)

場所：サンタマリア館 3F 階段講義室

長年大学教育とキリスト教的人間教育に携わってこられた小塩節先生に、ミッションスクールのかかえるさまざまな問題についてご講演していただいた。大学がこれをFD、SDの一環と位置付けてくださり、「カトリック精神に基づく人格教育を行い、有為な人材を育成する」という本学の教育理念の実現に携わる教職員一人一人が、今一度キリスト教と大学教育を見つめなおす良き機会となった。参加者は約80名。

- ・出版活動

「キリスト教文化研究センター 報告 5」 2014年11月発行

平成27年度(2015－2016)活動報告

- ・所員会

平成27年度は、4月23日、5月28日、6月25日、7月30日、9月24日、10月27日、11月24日、12月22日、2月4日、3月17日の計10回開催。主に研修旅行や公開セミナーについて話し合いが行われた。

定例所員会としては、前期は毎月最後の木曜日14:40～16:00、後期は毎月最後の火曜日10:40～12:00に開催。平成27年度の所員数は正所員11名、オブザーバー1名であった。

- ・カトリック大学キリスト教文化研究所協議会

2015年6月12日～13日 場所：京王プラザホテル八王子及び東京純心大学
出席 獅子目

- ・研修旅行

信徒発見150周年記念企画―キリシタンの里 平戸・生月を訪う旅―

期日： 平成27年9月3日(木)～9月5日(土)

参加者： 鹿児島純心女子学園 現・旧教職員 18名

行程：

9月3日 大学8:00―鹿児島中央駅西口9:00―昼食(セントラルホテル佐世保)―平戸・上神崎教会―平戸ザビエル記念教会―松浦資料博物館―宿泊所(平戸海上ホテル)・夕食

- 9月4日 宿泊所－生月・島の館－山田教会－黒瀬の辻－塩俵の断崖－大バ江灯台－
昼食(母々の手)－平戸キリシタン資料館－紐差教会－木々津教会－宝亀
教会－かまぼこ店・平戸物産館－焼罪史跡公園－宿泊所(サムソンホテル)・
夕食
- 9月5日 宿泊所－田平教会と墓地－九十九島巡り－昼食(佐世保)－ 鹿児島中央駅
西口 17:30－大学 18:30

帰りのバスの中で、参加された先生方の多くが、今回の研修旅行で実りある思い出深い貴重な時を過ごすことができたと感じを述べてくださった。7つの教会を巡り、またふだん私たちが目にしたことのない平戸・生月の自然や歴史に触れることができ、こころ洗われる、実りある研修旅行だった。

- ・公開セミナー 平成28年2月26日(金) 14:00～16:00
テーマ: 「キリスト教と教育」
基調講演: 「見たものと見なかったもの」
講演者: 竹山 昭 神父 (鹿児島純心女子大学特任教授)
対象: 鹿児島純心女子大学全教職員(FD・SD)、学生(希望者)
場所: サントマリア館 3F 階段講義室

長年、本学の大学教育とキリスト教的人間教育に携わってこられた竹山昭神父に、学生・教職員の置かれている現代においてキリスト教的価値観がぼやけ、福音の問題が見落とされているので、教職員の立場からどう学生を見、接し、育てていくのか、問題提起をしたいとお考えのもとにご講演していただいた。参加者は87名で学生や外部からの参加者もあった。もっと早くに竹山先生の講演を聞いたかった、わからないことがわかるようになった、学生がキリスト教についてどういう話を聞いて成長していたのかがわかってよかった、また今回のように竹山先生の話を書く機会を作ってほしいなどの、参加者の声が寄せられた。

- ・出版活動
「キリスト教文化研究センター 報告 6」 2016年3月発行予定